

事業概要)

名称	建築年	建築面積	延べ面積	構造・階数
橋梁実験室	2014 年	38 m ²	38 m ²	S 造 1 階
試験体置場	2014 年	51 m ²	51 m ²	S 造 1 階

改善目的の概要)

安全・安心な暮らしには、社会基盤の適正な維持管理が不可欠であるが、近年、橋梁やトンネル、高速道路等の社会基盤の老朽化が全国的に問題となっている。特に、市町村管理の道路・橋梁等は、技術力不足のため適切な維持管理が困難な状況にあり、社会基盤の維持管理や修繕等に対応できる人材の育成が急務である。

以上のことから、地元の社会資本を支える技術者育成の観点から、建設・建築系の高専生等に対し、メンテナンスに特化した実践的な研修を実施する施設として、当該施設を新営した。



橋梁実験室での講義



試験体置場での体験型実習



橋梁実験室 外観



試験体置場 全景

工事内容)

研修などを行う橋梁実験室（38 m²）と、老朽・劣化サンプルを保管し、体験型の実習を行う試験体置場（51 m²）を整備した。

効果)

研修に特化した施設を整備することで、座学によるメンテナンスに関する講義と全国各地から集めた劣化した橋の部材などの実物を用いた体験型学習を組み合わせることで、実践的な技術を効率的かつ効果的に身に付けることができる。また、真に求められている技術を身に付けることを通じ、高専生に自ら学ぶ専門工学に対する誇りと自覚を与える。